

# ミニプローブ 512Hz

## VPL-M5

### 取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全に正しくお使いください。
- 安全上の注意事項を下記のような表示で記載しております。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。



**危険**

火傷、ケガの危険性有り

- ・乾電池を火の中に入れてはいけないこと。また分解、改造、短絡しないこと。



**注意**

- ・乾電池を使い終わった時、長時間使用しない時は、乾電池を取り出してください。
- ・本器に強い衝撃や振動を加えたり、埃や湿気が多い場所、火の近くなどの極端に高温の場所に置かないでください。
- ・本器及び電池に発熱するなどの異常があるときは使用しないでください。



**高千穂産業株式会社**

## 製品概要

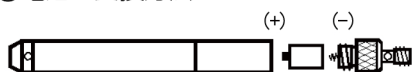
本器は非金属管路用の防水型小型発信器です。本器と埋設ケーブル位置測定器（MPLシリーズ）の受信器をセットで使用することにより管路の位置と深度を測定することができます。※鑄鉄管も材質により使用できる場合があります。

## 製品仕様

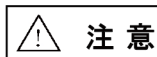
送信周波数	512Hz
測定範囲	0.2~3m
電源	CR2（3Vカメラ用リチウム電池）1個
使用時間	10時間（20℃）
使用温度	-20℃~50℃
寸法、質量	205×φ20mm、約170g

## 使用方法

### ①電池の交換方法



図の向きにリチウム電池(CR2)を入れます。



※電池チェック機能はありませんので  
あらかじめ受信器を使って動作を  
確認してください。

### ②通線器への取付け

(1)針金で固定する場合

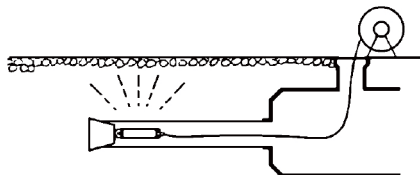


(2)通線器に取り付ける場合



ネジサイズはM10です

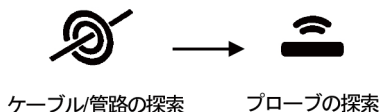
### ③通線器にてミニプローブを測定位置まで挿入してください。



## 探索方法

### ①受信器の設定

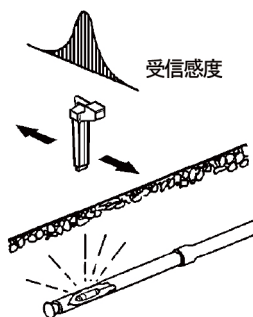
周波数を512Hzにした後、  
プローブ探索のモードに切り  
替えてください。



### ②位置測定

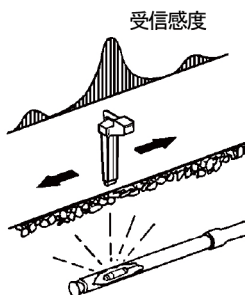
#### A) 管路の左右方向

最大法を使用します。  
最小法は測定できません。  
下図のように管路に対して  
直角方向で使用します。



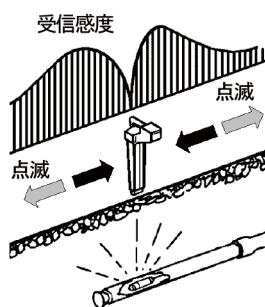
#### B) 管路埋設方向

最大法の場合  
感度のピークが3カ所現れ  
ます。中央の一番感度の大き  
いところがV管プローブ  
の直上位置です。



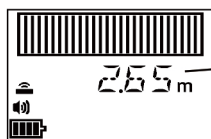
#### 最小法の場合

直上付近では直上の方向に矢印  
が表示されます。直上から離れ  
ると、受信感度の数値が点滅して  
矢印が逆に表示されます。



### ③深度測定

測定した直上位置で【深度】を押してください。  
下図のように深度の測定結果が表示されます。



深度結果  
電流指数はありません。

#### ④測定中にエラーが表示された場合

##### OVER

受信器がプローブに近すぎて、受信信号が測定レンジをオーバーしています。受信器を20～30cm持ち上げて使用してください。  
深度測定の場合は、結果より受信器を持ち上げた分を引いてください。

##### LOW

ミニプローブから遠く離れた場合や磁界を遮蔽する物が周囲にある場合「LOW」表示になります。  
また、電池が消耗していないか確認してください。

##### ERR

電力線等のノイズの影響を受けて信号が不安定になると、深度測定時に「ERR」表示になります。場所を移動して測定してください。